

令和8年度 観光・国際交流部組織目標

組織名	観光・国際交流部	部長	関川 丈彦
組織の目的・方向性	新潟の魅力と拠点性を生かし、積極的な誘客活動の展開とおもてなし態勢の強化を図るとともに、姉妹・友好都市をはじめとする世界の都市との交流を通じて、持続的な交流人口の拡大を図り、本市の拠点性向上と地域経済の活性化につなげます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・延べ宿泊者数 ・観光入込客数 ・新潟市は暮らしやすいまちだと思う外国籍市民の割合 ・新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

観光・国際交流部組織目標

観光・国際交流部では、本市が「訪れたいまち」として国内外の来訪者から選ばれるよう、民間団体や飲食等の店舗とも連携しながら、新潟市観光アクションプランに基づき一層の誘客と受入態勢の整備を進め、持続的な交流人口の拡大につなげます。また、本市の観光施策の中長期的な方針を示すものとして「(仮称)新潟市観光計画」を策定します。 日本酒や食、みなとまち文化、潟、田園など本市が持つ多様な観光資源と高い拠点性を活かしながら、県内外の自治体や関係団体と連携した情報発信と誘客活動をさらに推進します。 2026JCI ASPAC新潟大会や世界湿地都市ネットワーク市長会議等が開催されることから、まちなかでの案内環境整備や店舗での外国人受入支援、着地型観光コンテンツの充実など、来訪者の満足度向上と再訪を促進するため、引き続き受入態勢の充実に努めます。 また、新潟市多文化共生基本方針に基づき、「生活に関する市民向けパンフレット」などの多言語化ややさしい日本語の普及啓発などを行い、誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現を目指します。 国際交流では、ウルサン市との20周年記念事業を始め、姉妹・友好都市等との交流促進を図ります。 重点目標 1 多様な観光ニーズに対応し、本市の強みを引き出すための中長期的な計画として「(仮称)新潟市観光計画」を策定します。 2 更なるインバウンド増加のため、クルーズ船寄港時の受入態勢の向上や市内民間事業者向けセミナーの開催を通じて、滞在時の満足度向上を図るとともに、様々な媒体による本市の魅力発信・知名度向上を図ります。また、「にいがたふうど」の取り組みの中で行う「食体験」をテーマとしたツアー造成に取り組むほか、海外出展やセールス活動に努め、新潟空港の利用活性化にも引き続き取り組みます。 3 本市の強みである食や日本酒を活用した誘客プロモーションを強化するとともに、佐渡をはじめとした他都市との連携を図りながら佐渡・新潟エリアへの誘客と周遊を促進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	達成数
今後の方向性			